

令和2年度第2回宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 令和2年度まちづくり活動助成事業実績報告及び事後評価 議事要旨

日 時：令和3年2月9日(火) 午後6時00分～8時00分

場 所：宮城野区中央市民センター3階 第3会議室

出席者：井上委員長、高畑副委員長、佐藤副委員長、庄司委員、
有坂委員、葛西委員、まちづくり推進課

1 開会

※新型コロナウイルス感染予防による入れ替え制での開催のため、委員長挨拶・評価委員の紹介・概要説明は省略。

2 事業報告及び質疑応答

(1) 事業名：貞山運河と新浜の魅力アップ事業

団体名：新浜町内会

<質疑・意見>

委員 十分に知識を蓄えられてきていると思うので、そろそろ小・中学校の生徒を対象に、共に学ぶ・教える・魅力を伝える、といったことは考えているのか。

説明者 この事業とは別に、去年4回ほど地元の岡田小学校を対象とした植林体験などを行った。地元以外の学校については、バスをどうするかなど交通手段の問題があるが、実施できるように今後考えていきたい。

委員 活動内容をイメージするため、資料に添付されている活動の様子を映した写真について、説明いただきたい。

説明者 (説明者より添付の写真5点について説明)

委員 町内会の大きなイベントとして位置づけられていると思うが、この事業によって町内会の活動や地域の交流人口にプラスとなった部分はあったか。

説明者 イベントのチラシを市民センターなどいろいろな所に置いてもらうことで、新浜のことを知り、イベント以外でも新浜に来てみたいという方が増えた。しかし、かき上げ道路が出来たことで、アクセスが分かりにくいという声が多く聞かれるようになり、区役所に相談しているところである。

(2) 事業名：いわきり遊学プロジェクト

団体名：I O C (岩切おもしろ倶楽部)

<質疑・意見>

委員 1年目、2年目と同じ様な内容のイベントが続いたなかで、3年目に「何か新しいことをやらなければ」という考えが、参加してみたいと思わせる講師の招き方などにつながったのではないかと思う。ホームページ上で活動内容などを紹介しているが、ホームページはいつ頃作ったのか。また、サイトへのアクセス数などが分かれば教えていただきたい。

説明者 ホームページは3年前に作成したが、対外的にPRを始めたのは1年ほど前からになる。ホームページを見たという声は多く聞かれるが、実際に何人くらいの方がサイトに訪問しているかは分からないため、アクセスカウンターを今後設置する予定である。

委員 コロナ禍の中で新しい企画を考えたことは素晴らしく、感動した。コロナ対策のため10名～15名前後という難しい集客であったと思うが、どのような工夫を行ったのか。

説明者 今回は一般賛助会員の中でお声掛けし、集まっていた。また参加したいという声を多くいただき、コロナ収束後は地域の皆様にお声掛けするなど、規模を広げたいと考えている。

委員 ホームページにセミナーの様子を載せる際、1時間の動画をただ載せるだけでは、見ている方は退屈してしまう。カメラのアングルを変えたり、テロップを付けて短くまとめるなど編集力を上げていけば、ホームページを訪れる方も増えると思うので、これからもがんばっていただきたい。

(3) 事業名：みんなで歩こう、宮城野原

団体名：宮城野原案内人の会

<質疑・意見>

委員 今後、独立採算制に本腰を入れていくとのことだが、その財源としていくつか想定されているが、そのひとつに「コースガイドの有料化」が挙げられているが、値段の設定など何か準備はしているのか。

説明者 1回あたり200円～300円、ガイドマップ地図込みでは500円程度で考えている。ガイドマップ地図については、みやぎの・まつりや市民センターまつりなどでも販売し、長期的に安定した財源を確保できればと考えている。

委員 地元の宝を小学生に伝えていくことはとても大切であり、今後も宮城野小学校への出前講座をぜひ続けていっていただきたい。

説明者 小学生への出前講座では、素朴な疑問などたくさんの質問があり、中には我々の知らないこともあるため、こちらも勉強になりプラスになっている。次年度の開催については、カリキュラムに取り込んでいただくよう、学校側に進言しているところである。

委員 原町の古民家巡りなども行っているようだが、地元のことを知らないお子さんが増えており、原町小学校のお子さんにもぜひ声をかけて参加させていただければと思う。また、踏切跡の銘板設置、残り3箇所に向けてがんばっていただきたい。

説明者 原町小学校には、こちら側からやる意思是伝えており、良い返事が来ることを期待している。銘板については、今年度は2箇所の設置を終え、残り3箇所についても次年度中に設置となる予定である。完了した際には、セレモニーを開催したいと考えている。

(4) 事業名：東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティーを活発化させるプロジェクト

団体名：東仙台耀き歴史クラブ

<質疑・意見>

委員 ほかの団体とコラボしたとのことだが、具体的にどういった団体か。

説明者 まるっとつるがや、陸奥国分寺、歴史史跡巡りの会など、5つの団体とコラボした。

委員 いろいろな団体とつながり、ネットワークを持つことで、より良い活動ができると思う。皆さんの知識を地域に還元できるような活動を続けていっていただきたい。

委員 活動報告で問題点・課題点を挙げていた中で、クラブ会員中心の参加・活動だったとあり、「一般公募募集はあまりにもハードルが高く」とあるが、どういった懸念があったのかお聞かせいただきたい。

説明者 コロナ禍での活動のため、部屋の広さから何人収容できるかを考え、一般公募した際に募集が殺到することを懸念し、参加対象を限定して募集を行った。

委員 当初は東仙台の歴史探訪と地元理解を深めるためといったスタートだったが、コロナ禍ということもあり、クラブ員の研修で四ツ谷用水を見学するなど地元以外での活動を行っているが、今後も仙台全域に活動を広げていくのか。

説明者 四ツ谷用水を見学した理由は、地元東仙台と歴史的に関りがあるためであり、活動範囲を広げるという訳ではないが、今後も地元エリアに関連する箇所については、勉強

のために取り入れて行きたい。

(5) 事業名：新浜『食』・『農』体験学校

団体名：宮城野親子で料理プロジェクト

<質疑・意見>

委員 コロナ禍にあって、これだけの活動が出来たのは素晴らしい。前にも言ったが、ぜひ法人化・独立を目指して頑張ってもらいたい。県内だけでなく全国に向けて発信できており、この助成金はその基礎となったことがとても嬉しい。気になったのは、小屋に換気扇を付けたようだが、その費用は決算報告に乗せているのか。

説明者 乗せていない。

委員 自己負担で行ったと思われるが、独立した際には会計・組織をしっかりと提供したい。食育は絶対に必要なもので、子供たちのためにもがんばっていただきたい。

委員 報告の中で小屋がとても役に立ったとあるが、これまでの室内に加えて、外でもできるメニューをもう少し増やしていくことや、違った形で収入源となるメニューを作っていく努力をすることで、今後の活動の幅が広がっていくのではないかと思う。活動の場として水田を借りていると思うが、引き続き借りることはできるのか。

説明者 今年度から、同じ宮城野区で活動している新浜町内会の方々の水田をお借りし、一緒に活動している。地元の方や宮城教育大学の学生など、活動に関わる多くの方との新たな繋がりができた。これからも共に協力し合いながらこの地域を盛り上げていき、来年度以降もこの活動を継続していきたい。

委員 収入のうち参加者負担金が占める割合が大きいですが、参考に1回あたりの参加費を教えてください。

説明者 毎回、材料費や素材の内容などが違うため、室内での食育活動などは1,000円から1,500円、農作業体験については500円から1,000円くらいの幅で、一律ではない。今年度は収入が大きく減ったが、新たな試みとして毎年行っている味噌作りを自宅でできるように動画を作成し、材料を保護者に取りに来てもらい、配信した動画を見ながら家族で味噌を仕込むといったことを行った。これに関しては3,000～4,000円と高い値段になったが、新たな収入の形として次年度に繋がるものになった。

(6) 事業名：仙台蒲生日和山プロジェクト

団体名：中野ふるさとYAMA学校

<質疑・意見>

委員 地元の宝を活用しながら活動のバリエーションが広がり、地域の団体として定着した実感がある。3年間気になってきたのが、バスのチャーター料をどうしていくかである。例えば、サポーター会員や寄付制度など、補助金に頼らずに運営する仕組みを研究していただきたい。

説明者 バスのチャーター料が一番経費が掛かっているが、あと3年ほどで日和山行きの通常運行バスが開通する予定なので、それまでは地元企業に協賛のお願いをするなどしていきたい。

委員 日和山登山・山開きがメインの活動になるかと思うが、これを基にしながら少し幅を広げて、例えば貞山堀の歴史についても紹介するなど、来られる方に何かしらもっと興味を持ってもらえる企画があると良いのではないか。

説明者 日和山だけではなく、貞山堀や蒲生干潟など歴史文化のある一帯なので、皆さんに来ていただけるように伝えていきたい。

委員 2月6日に開催した木村浩二氏の講演会は、何名の参加があったのか。

説明者 コロナ禍であり、50名限定とした。

委員 今回は助成金を活用した企画のため参加費無料としているが、木村浩二氏のように、

参加者を集められる講演の際には参加料を取るなど、運営費用を考え検討してみると良いのではないかと。コロナにより、7月の山開き登山が開催できなかったとのことだが、鶴巻小学校の子どもたちと登山をしたとの報告があり、次年度以降も日本一低い山の登山を子どもたちに、ぜひ経験させていただきたい。

説明者 鶴巻小学校だけでなく、岡田小学校とも活動を行っている。今後も子供たちに伝える活動を続けていきたい。

(7) 事業名：X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト

団体名：X橋保存会

<質疑・意見>

委員 クリアマップの完成度が素晴らしい。多くの方が欲しくなると思う。X橋に一番近い榴岡小学校の3年生は、授業でまち探検を行うので、その課題の一つにぜひ名乗り出ていただきたい。

説明者 コロナ禍で今年はなかなか交流ができなかったが、来年度はぜひ検討していきたい。

委員 クリアマップのアイデアはどこから生まれたのか。

説明者 まち歩きの際の地図として、6つの時代の中から昭和39年の地図を持っていくことが決まったが、昔の地図だけでは現在との比較ができないとの話になった際に、会のメンバーのアイデアから生まれた。今後は昭和39年だけではもったいないので、様々な時代の地図を作りたいと考えている。場所も駅東だけではなく、県全域や全国にも広めていければと思う。

委員 今後は、X橋遺構のガイドツアーやまち歩きをぜひ実現させていただきたい。

説明者 アイデアとして、X橋の遺構を作る際にみんなに作業に参加してもらい、現地で組み立てたいと考えている。これも一つのPRとなり、X橋を知ってもらうきっかけになるのではと思っている。

(8) 事業名：Your Kitchen (ユア キッチン)

団体名：仙台駅東まちづくり協議会

<質疑・意見>

委員 事業の狙いとして、ランチ難民の解消を基本としながら、宮城野通り界隈の賑わいの創出となっているが、長期的な目標としてはどの様に考えているのかお聞かせいただきたい。

説明者 今回のユアキッチンという取り組みを皮切りに、飲食店だけではなく、例えば手作り雑貨店など他の業種も含めて将来的には常設化し、仙台駅東口のメインストリート・顔である宮城野通りの賑わいづくりに貢献していければと考えている。

委員 事業1年目で550万円の売上は凄いことだと思う。助成金を活用してチラシを2万枚作成したとのことだが、どの様な場所に配布したのかを教えてください。

説明者 主に近隣の住宅と事業所にポスティングを行った。また、買い物に来られたお客様に、出店者から直接配ってもらった。

委員 今回の収支報告書に記載があったのは、助成金を活用した分の内訳だけであったが、出店者に対する手数料といった収益はなかったのか。

説明者 ユアキッチン実行委員会として出店料を徴収しており、チラシ以外にのぼり旗の作成などに活用した。

委員 今回はテイクアウトであったが、今後飲食の場を提供することになった場合、ゴミをどうするかといった問題が出てくるかと思う。主催者として、ゴミ処理についてきちんと考えていただきたい。